



Council No.8 Japan Region

# Newsletter

Vol.27 No. 3 May 30th

## < 会長から会員の皆様へ > 第27期会長 烏谷まゆみ



カOUNSルNo.8 第27期第2回会合は、4月22日(土) 柏の葉カンファレンスセンターにて、無事終了しました。担当クラブの皆様、プログラム委員会、スピーチコンテスト委員会の皆様初め、会員の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。ゲストの皆様からもNo.8のおもてなしにお礼の言葉が寄せられました。

初めての会場ということと、アクセス面で不安はありましたが、いざふたを開けてみますと、天井は高く新しい施設ということもあり、清々しく進行することができました。ともすると殺風景になりそうなところも、会員のご子息による活花で華やかに彩られました。

第2回会合の華であるスピーチコンテストでは、並み居るコンテストタントの中から、英語の部で丸田晶子さん(柏)、日本語の部で池田美智恵さん(彩玉)が見事優勝されました。リージョン大会でも実力を如何なく発揮され、ご活躍されますよう、応援しております。28期役員へのバトンタッチも滞りなく終わりました。会員の皆様、来期は豪華客船に乗ったような気分でお楽しみください。そのためには、多くの方が乗船して活気づけてくださいますようお願いいたします。

会合が終わってホッとする間もなく、リージョン役員会からの突然の「ITC 国際の解散」のお知らせが届き、会員全員が驚きました。足元をすくわれるような気がしました。でも、このような時が訪れるのは、遅かれ早かれあるだろうとは想像に難くありませんでした。

「企業寿命30年」という説があります。これは、ITCも例外ではありません。立ち上げた時の精神が素晴らしいものであったとしても、段々モチベーションは下がってきます。時代のニーズに合わなくなったり、引き継ぐ人間が少なくなっていくと、財政面も不足してきます。突然の通知で驚きはしましたが、今こそ、日本でITCが生き残れるよう、会員一人ひとりの「創意工夫」と「自己改革」が必要なのではないでしょうか。ITC 宣誓に私達の歩むべき道が表されています。「我々 International Training in Communication のメンバーは、世界中の相互理解促進のためにコミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。」

カOUNSル No.8 テーマ 「毎日が即興劇」

日本リージョン テーマ 「見上げて 共に進もう」

ITC 国際 テーマ “Leading the Way” (先頭を切って…)

# 第 27 期第 2 回カウンスル会合

於：柏の葉カンファレンスセンター 4月22日（土）10:30～16:08



第 27 期第 2 回カウンスル会合が 4 月 22 日（土）、千葉県柏市の「柏の葉カンファレンスセンター」にて開催され、102 名（ゲスト 15 を含む）が参加した。2005 年にカウンスル会合が年 2 回になってからは、カウンスル会合が東京以外の場所で開催されたのは今回が初めて。2014 年に開業したというこ

のカンファレンスセンターは新しく、天井が高くて、満員だったが窮屈な感じがなくすっきりした感じで心地よかった。

## ビジネス

午前 10 時 30 分：烏谷まゆみ会長が開会宣言を行った。

ビジネスは派遣員 10 名、公式代理人 1 名で成立。第 1 回会合議事録、会計報告、会計請求は承認された。続いて次期役員選挙が行われた。指名委員会により提出された名簿にフロアからの追加指名はなく、口頭による投票が行われ以下のように選出された。

会長：八尾和子（東京）

第一副会長：松岡美保（筑波）

第二副会長：椎名恵子（サンデー）

書記：饗場嗣祈子（横浜）

会計：市橋和子（東京）

八尾次期会長は、来期のテーマを「学びほぐし」と発表。

## プログラム(スピーチコンテスト)

11 時 20 分からの昼食をはさんで 12 時 30 分よりスピーチコンテスト。蛇足ながら、昼食はいろいろな副菜が彩りよく配置されたお弁当で、参加者はまずまずの満足を得られたようだ。

英語の部      プログラムリーダー      江端真理子（サンデー）

優勝：丸田晶子（柏）

日本語の部      プログラムリーダー      橋爪明子（横浜）

優勝：池田美智恵（彩玉）

2 位：寺西キヌ子（アクア千葉）

3 位：関稔子（東京）

日本語の部終了後、約 30 分のティータイムがあり、コーヒーとお菓子で思い思いにおしゃべりを楽しんだ。

## 《スピーチコンテスト出場者とプログラムリーダー》

日本語の部

英語の部



前列左から3人目がプログラムリーダー



左端がプログラムリーダー

## 《スピーチコンテスト優勝者の工夫》

優勝者に3つの質問をしました。

- 1 準備の段階（原稿作り）で、一番心がけたこと。
- 2 プレゼンテーションで、一番気をつけたこと。
- 3 リージョン大会ではどんなことに気をつけよう、あるいは何か改善しようと思っていることはありますか。

英語の部 優勝者 丸田晶子さん（柏クラブ）

- 1 準備の段階（原稿作り）で、一番心がけたこと。  
分かりやすい出だしでスピーチをスタートすることです。  
また、年々記憶力が低下していますので、難しい単語を避け少しでも覚えやすい表現で原稿を作成しようと思いました。
- 2 プレゼンテーションで、一番気をつけたこと。  
スピーチのテーマが「アイコンタクト」でもありますので、原稿をしっかりと暗記し、できるだけ聴衆に語り掛けるように努めました。スピーチの途中から演台のマイクを手を持つことを準備の段階で予定していましたが、当日会場へ行ってみると演台は固定マイクでしたのでとても慌てました。  
特に初めて利用する会場の場合は思わぬことが起こるものだと痛感しました。
- 3 リージョン大会ではどんなことに気をつけよう、あるいは何か改善しようと思っていることはありますか。



文書評価その他、皆さんからいただいた評価の内容やアドバイスを参考に、構成を

今一度検討しようと思っています。自分本位にならないように気を付け、少しでも自信を持って、楽しみながらプレゼンテーションの準備をするためにも、納得のいく原稿作成が大切だと思います。クラブ・カウンスル大会に比べて会場が広くなり、聴衆もカウンスルの馴染みのある顔ぶれではなく様々になることをイメージしながら準備しようと思っています。スピーチコンテストは何回出場しても、レベルに関係なく毎回緊張して足が震え喉がつぶれそうになります。

何もかもが初めての会場ですので、雰囲気に向けてしまわないように願っています。

## 日本語の部 優勝者 池田美智恵さん（彩玉クラブ）

カウンスル No.8 のスピーチコンテストで思いがけず優勝させて頂き、本当に嬉しく思います。

というのは、クラブでのスピーチとは内容を変えて挑戦してみたので、不安でいっぱいだったからです。

初スピーチで、聴衆の反応が心配でした。しかしながら楽しむスピーチのカテゴリーなのだから、楽しくできればいいかなとも思いました。

なぜ、内容を変えたかという、マンネリ化したスピーチをやめようと思ったからです。

クラブスピーチコンテストの後、メンバーの一人が「池田さんのスピーチは必ず旦那さんがでてくるね!」と言いました。そうなのです、ITC に入会して以来 24 年間、私のスピーチには毎回必ず夫が出演しているのです。本人は全く知りませんが。誰にも迷惑をかけない登場人物、といえども夫しかありません。ユーモアの小出しには欠かせない人でした。しかし、今回は消えて頂くこととなりました。スピーチコンテスト、初めての夫出番なしの原稿となりました。

プレゼンテーションで気をつけることは、話し方が演劇やお芝居のように大げさにならないように、自然体で話すようにしたいと思っています。

リージョンではどんなスピーチを聞けるのかがいつも楽しみです。地域や環境、年齢の違うメンバーたちのスピーチを聞くことは、私にとってスイーツを食べる時と同じ至福の時間です。出場する以上、頑張らなくてはいけないのですが、少し力を抜いて、さりげなくできればいいかなと思っています。



優勝者お二人のお話は、とても参考になりますね。さあ、来年度は皆様の出番です。

審査員のコメントを断片的ですが、少し書いておきます。

- \* good point: All the speeches were based on daily life and experiences.
- \* Clear message is the most important.
- \* スピーカーの心が伝わるスピーチかどうかを重点
- \* 笑顔、間、ゼスチャーなどの非言語も大事
- \* 印象管理（第一印象を決定するのは最初の 5. 6 秒）も大事



# クラブ便り

今、各クラブでは、どんなことが起きたり、どんなことを考えたり、  
どんなことをしようとしているのでしょうか。

クラブからお便りをいただきました。

## 編集者から

この「クラブ便り」のページは、各クラブの様子を少しでも垣間見られれば、と思い企画したものです。

第1号から今回の第3号まで、原稿を担当してくださった会員の皆様に心より御礼申し上げます。何かお礼を差し上げたいぐらいですが、、この礼状でご容赦願います。

本当にありがとうございました。

なお、東京クラブのお便りは次ページに大きく掲載しました。というのは40周年記念で大きなプログラムを開催された報告を皆様に知っていただきたかったからです。

## 横浜 クラブ 会員数 10名

今期は、2人の新人が入会し、横浜クラブにとって、良い期でした。

10月のストーリーテリングは、楽しいものでした。ゲストの方も参加し、入会に至りました。9月例会に2名の見学がありましたが、対応できず、入会には至りませんでした。

来期は、人数が10名に増えますが、気持ちを引き締め、新しい方には丁寧に指導したいと思っています。新入会員は、会員の友人と、知り合いの方です。やはり、ロコミが入会には一番繋がると思います。また、前期の日本リージョン大会のスピーチコンテストに斉木会員が優勝したことが、周囲に良い影響を与えていると思います。やる気モードの横浜クラブです。  
(田村)

## 蕪崎クラブ 会員数 7名

4月例会のプログラムで「ストーリーテリング～音楽を聞いて」で会員が創作物語を作るを行いました。私自身も初めての経験だったので、皆さんに聞いていただく曲選びに「聞いた事がない」「五感を働かしイマジネーションを膨らめ易い」曲をと考え、私の好きなバンスリ（ネパール地域の竹笛）奏者、インドラ・グルンの「ナマステ」を選び聴いていただきました。インドラさんは「このバンスリを多くの人に聞いて貰い、ヒマラヤの魂を伝えたい、笛の音の中に、ネパールの風や山、木々の音がある」といいます。発表した会員はみごと、それらを感じた、それぞれの個性ある物語を発表していただき、私自身もですが、会員もそれぞれの物語に感動したプログラムでした。  
(畑山)

## 筑波クラブ 会員数 7名

12月：チェロ奏者を招いてミニコンサートとランチを楽しむ。

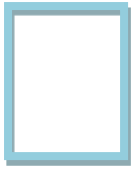
1月：ゲストスピーカーを招いて翻訳を通しての文化論。質疑応答で盛り上がる。

2月：Speech Contest

3月：第一部クイズ形式でパソコンを用い、音楽やフレーズから映画のタイトルを当てる。第二部映画や本の中のお気に入りのフレーズを各自発表。

4月：建築家「坂 茂」の「紙で出来た避難所」を鑑賞し、ディスカッション。

5月：皇居の庭園を見学。無料でガイド付き。おすすめです。  
(寺崎)



東京クラブ 会員数 22名

## 「40周年記念の集い」

「40周年記念の集い」は、センチュリーコート丸の内において5月16日に開催しました。懐かしい元クラブメンバーや他クラブのメンバー60名が遠路駆けつけてくださり、会場は華やかな熱気に包まれました。

プログラムは3部構成で、**第1部**「チャーターメンバーへのインタビュー」では、チャーターメンバー3名に、チャーター前後のエピソードや苦労話などを伺いました。すき焼きで入会を誘われた話や、お正月に向け長唄のお稽古に通った話などに会場は盛り上がり、「言葉遣いが美しく、ユーモアもあり、流暢なお話しに聞きほれました。」との感想をいただきました。



(チャーターメンバーのお3人)

**第2部**「課題図書にみる40年」は映像とナレーションで、東京クラブの長期継続プログラム「課題図書」を取り上げ、40年を振り返りました。バイリンガルで取り組んだ初期のころから、仏教につ

いて学んだ今期まで駆け足での紹介でしたが、当クラブ自慢のプログラムだと思います。

**第3部**は「これが歌舞伎だ！」と題し、元歌舞伎座支配人に講演をお願いしました。歌舞伎の成り立ちから見どころまで、豊富な映像を用いた解説は興味深い内容でした。



(課題図書にみる40年)

最後のクロージングソートは全員で第九の「歓びの歌」を合唱しました。東京クラブの40周年をお祝いくださるゲストの皆様の温かい笑顔に囲まれ、センチュリーコート自慢の料理に舌鼓をうち乍ら語らい、共に楽しんだ集いでした。

(40周年記念特別委員会 田中)



(おいしい料理と笑顔)



## 東葛クラブ 会員数 7名

例会はなるほど講座2回、5分間スピーチ、仏教、「聴く 訊く」、笑いま show、フィールドトリップと毎回充実したプログラムでした。

初めてスピコンに参加した私は二人の方から評価を頂きましたがコメントが暖かく、ありがたく嬉しく思いました。

フィールドトリップは「謡曲隅田川」にちなみ梅若公園、木母寺を中心に訪れ、謡曲の世界に浸りました。地元の高木先生のガイドを得、鐘ヶ淵、向島の歴史を学び円徳寺、多聞寺などお寺の多さにも驚きました。明治～大正にかけて文人の住まいや行楽地であり往時の面影を尋ねる1万歩の心ゆく「小さな楽しい旅」となりました。(下井)



## 花巻クラブ 会員数 8名

真剣に学んだり、その後の夕食を囲んだり、新入会のお祝いは、特別ディナー。花巻クラブの例会場所は、会員の瀧さんが営業する無ら里(ぶらり)café レストランだけに・・・贅沢な例会の日々です。(藤原)



## アクア千葉クラブ 会員数 9名

ピッシン！という気合を求めて、我クラブ8人は降りしきる雨の中、成田山にて座禅の体験へと心して出かけました。全員あのピッシン！を期待し、弛んだ精神を引き締めてほしかったのです。でも、真言宗にはピッシン！はないとのこと。残念！・無念！

気を取り直して、地元成田の長命泉の酒蔵見学です。説明よりも試飲です。とても口当たりよくのど越しもすっきりとおいしくお猪口を重ねました。当然のごとく帰りは重いお土産になりました。思い出に残るフィールドトリップでした。(寺西)



## 柏クラブ 会員数 16名

柏クラブは、今年30周年を迎えました。皆さま、柏クラブの生い立ちをご存知ですか。柏市は、カリフォルニア、トーランスと姉妹都市で、毎夏、高校生が約10名、約一か月を、柏で過ごします。私たちは、その“ホストファミリー”だったのです。

30数年前の夏、その反省会で、小菅あけみさん(現サンデークラブ)が、柏にもITCを設立したいと勉強会を立ち上げ、毎月ご丁寧なお誘いのお葉書を下さいました。色々な方、特に東京クラブのサポートもあり、その半年後に柏クラブが誕生いたしました。先日、ITCの資料を整理していて、この30年、本当に色々なことを学んだことに深く感動いたしました。

今年の5月例会には、30周年を祝って鎌倉に一泊旅行に行きます。(阿部)



## 彩玉クラブ 会員数 12名

12月：「ダンスの会員も身体を動かし、ステップを踏みよい汗をかきました。1月：「和食レストランで新年会」美味しいお食事と、今日の話で今年の抱負を語り、新年の華やぎの中で和やかな例会となりました。2月：「スピーチ大会」会員同志で評価を受け持ち、それぞれが勉強になりました。池田美智恵会員カウンスル一位、おめでとうございます。

3月：「花言葉」に想いを乗せて、会員の雰囲気の花にたとえ、花言葉を贈りました。自分自身を花にたとえて頂き、うれしいプログラムでした。4月：「お香体験」は「追善香」として亡き会員を忍んでのお香会でした。伽羅はみんなが大好きな香りでした。5月：「フラワーアレンジメントに挑戦」皆真剣に取り組み、見事な花がそれぞれ完成。同じ材料でも個性豊かな作品が出来ました。(今井)



## サンデークラブ 会員数 16名

5月21日例会は、何年かぶりでOutingでした。とても暑い日でしたが、湿気がなく木陰は気持ちよく、上野駅から気持ちよく歩きました。

韻松亭では20分ほど待たされたのですが、前でプロ並みのマリンバの演奏をやっていて、木陰のベンチで楽しく聞いておりました。韻松亭では椅子席のお部屋で、高齢者の多い我がクラブの方たちは楽に座れてよかったです。お食事とてもおいしかったです。上野東照宮では樹齢600年のご神木の大楠、左甚五郎作昇り龍、降り龍などを見ました。ITCの問題が生じた時だったので、皆で考えを論じ合いました。日本語で。(江端)



便りが無いのはよい知らせ。お便りを頂けなかったクラブも お元気できっとうまくやっぴらっしやることでしょう。いつかお便りがあると嬉しいです。

## 編集後記

いよいよ今年度最後のニュースレターである第3号が発行されました。ニュースレターは一年に3回だから大丈夫、と言われ、しぶしぶ引き受けたウェブサイト・会報委員。そう、ほんとうに何とか大丈夫でした、と自己満足。それは、原稿を快く引き受けてくださった心優しい皆様のおかげです。ありがとうございました。

大 大 大感謝！！

